

君の  
コンさる

# 今日も視界良好

vol.054

## ④「おすすめの1冊」 中小企業診断士 木戸 貴也

ジム・コリンズ、ビル・ラジャー著『ビジョナリー・カンパニー-ZERO』(2021) 有名なビジョナリー・カンパニーシリーズの最新作が今年の8月に発売されました。同シリーズは、「時代を超える生存の原則」や「飛躍の法則」など各シリーズのテーマがありますが、本作は「ゼロから事業を生み出し、偉大で永続的な企業になる」がテーマとなっています。基本的に「誰をバスに乗せるか」や「弾み車の法則」など過去シリーズの内容を踏襲していますが、新たな視点、考察もあり、興味深い内容でした。「急成長のスパイラルと落とし穴」は、特に他人事ではないなと考えさせられ、今後も繰り返し読みたいと感じた1冊でした。



## ⑤「自己紹介」 杉原 千尋

9月より入社いたしました、杉原千尋と申します。前職では雑貨品メーカーで商品企画兼営業職に従事していました。それ以前は、産業系業界専門誌の出版社に記者として勤め、企業や官公庁、研究機関などを中心に取材を行ってまいりました。経営コンサルタントとして1日でも早く事業者様の役に立つことができるよう日々精進して参りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。  
生年月日：1994年4月27日 星座：牡牛座 血液型：A型  
趣味：旅行、観劇、フラメンコ



## ⑥「環境により気持ちは変わる」 椋本 啓嗣

弊社では、再生案件や補助金資料の作成で遅くまで業務を行うことがあります。まずは、事業者様のために、なんとしても期限までに資料を作成することを目標に全従業員が一生懸命取り組んでいます。私は、前職ではかなり忙しい職場で、毎日家に寝るような生活スタイルを続けていました。休日や深夜にも、仕事の連絡が入り対応しなければいけない環境に精神的にかなり疲弊していました。今でも、休日出勤や遅くまで仕事をすることもあり、身体的な疲労はあるものの、精神面での憂鬱さなどは感じることはほとんどありません。仕事の忙しさは、総合的に考えると今の方が忙しいのですが、前職より辛いのはなぜかと考えた時、第一に思いつくのは周りの環境(人)だと思えます。私の中では、働く上で最も重要なことであると最近つくづく感じており、これから会社を拡大していくにあたって、同じように周りを大事に思ってくれる人が増えていけばいいと思います。

## ⑦「社内ポスターでの発見」 事務担当 松野 あやか

ある日の会議で「ポスターの位置、高さも場所も悪い!」と指摘を受けました。弊社では経営方針書に記載されていることから重点的に取り組む重点目標と日々の業務での改善案を出す業務改善を8月から紙媒体で出し、社内ポスターとして入口に掲示しております。橋本と協力し、一緒に社内ポスターを作成しました。代表の長尾に週次会議でBSC週次報告の際にただ今月の重点目標と業務改善を口頭で確認するだけでなく、普段から全員が見ることができ、重点目標と業務改善を社内でもっと浸透させてほしいとの依頼でした。しかしながら、私が掲示した場所は、入口のロッカーであり、普段ロッカーに何か取りに行く時しかそのポスターを確認しない(死角になる)場所でした。「それだと浸透もしないし、今月の重点目標と業務改善が何かわからない」と指摘を受けたことに加えて、イゼルの設置やポスターの掲示などを行い、SALEやイベントを実施する際の小売業のご支援などができないとの指摘も受けました。単なる社内ポスターなのですが、見方を変えることで重要な業務のひとつで、目的とその業務を行う意味があり、小売業の支援先様へのアドバイスや社内の活性化に繋がっていくと感じました。



## ⑧「優先順位」 インターン生 橋本 大治

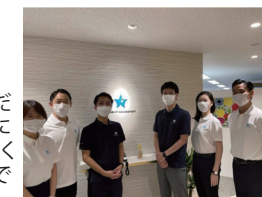
私は物事の優先順位を決めるのが苦手です。自分が今すべきことは何なのか、これでいいのだろうか悩むことが多々あります。優先順位の決め方には様々な方法がありますが、最近大学の授業で知り、参考にしているのがアウゼンハワートリックスです。これは物事を緊急性、重要性の視点から4つに分類するものです。この考え方を教えてくださった教授によると本当に優先すべきことは緊急性がなく、重要性が高いものだそうです。例えば知識をつけるための読書や業務改善がこれに当たります。勿論、締切の近い仕事等、緊急性・重要性が共に高い事項をほっておくわけにはいきません。しかし、読書や業務改善に力を入れることで長期的に見ると余裕が生まれ、目の前の仕事が解消されていくそうです。この考え方を学んでからは今ある仕事を精一杯に頑張ることも重要ですが、それ以上に今はインターンという特別な立場を利用し、自身の仕事の進め方を見つめ直すことや知識の蓄積に時間を割くことが長期的に大切なかなと考えています。

## ⑨「コンプライアンスについて考える」 インターン生 秋定 皇輝

先日、ある出来事を契機に社内のコンプライアンスについて考え始めました。昨今コンプライアンスが注目されている理由は、遵守しなければ損害賠償請求、社会的信頼の失墜、売上減少、倒産といった影響を免れないためです。実際、2020年度にはコンプライアンス違反で倒産した企業は182件となっています。しかし、コンプライアンスを重視することで、企業の信頼・企業価値の向上などが期待できます。現在、当社は従業員10人未満ですが、コンプライアンス体制作りとして、就業規則の制定に取り組んでいます。就業規則の制定だけでなく、社内でのコンプライアンス体制を確立し、実際に自社の企業価値等を向上させることで、事業者様への支援へ活用できるのではないかと考えています。

## ⑩「編集後記」 中小企業診断士 長尾 康行

人数が増えて一人当たりのニュースレターの枠がタイトになってきているにも関わらず、それを考慮せずに一生懸命に書いてくれる社員さん・・・(苦笑) おかげで私のスペースがなくなりました。でも、これでいいんです。主たる業務だけでなくニュースレター、ブログ、掃除など積極的に参画してくれる姿勢を大事にしていますので、嬉しく思います。10月も若くて前向きな社員さんとともに楽しく元気に頑張ります。写真はオリジナルポロシャツができたので記念撮影した様子です。



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関

〒542-0081 大阪市中央区南船場 4-12-8 関西心斎橋ビル 8階

TEL：0120-34-8776

FAX：06-7635-8214

MAIL：info@flagship-keiei.co.jp

URL：www.flagship-keiei.co.jp



株式会社フラッグシップ経営 Facebook ページ

「いいね!」お待ちしております。



株式会社フラッグシップ経営 Twitter

@flagship\_keiei にて随時情報発信中!

